

令和八年度 第二十回

本多静六賞 募集

本多静六博士が寄贈した中津川県有林
(埼玉県秩父市中津川)



林学や造園学の研究、森林や公園の造成及び指導を通じ多大な功績を残した本多静六の精神を受け継ぎ、緑と共生する社会づくりに貢献した方に贈呈します。

応募締切 令和8年11月30日(月)

主催：埼玉県 共催：久喜市

後援：林野庁関東森林管理局埼玉森林管理事務所

公益社団法人埼玉県緑化推進委員会 埼玉県森林組合連合会 一般社団法人埼玉県木材協会

公益社団法人埼玉県農林公社 一般社団法人埼玉県造園業協会

埼玉県森林協会 東京大学秩父演習林 **NHK** さいたま放送局 **テレ玉** **埼玉新聞社**



埼玉県マスコット
「さいたまっち」「コバトン」

本多静六賞 募集要項

1 受賞対象者

埼玉県にゆかりがあり、学術研究又は実践活動により緑と共生する社会づくりに貢献した個人又は団体とします。

「埼玉県にゆかりがある」とは、次のいずれかに該当するものです。

- 埼玉県内で活動していること
- 現在又は過去において埼玉県に居住していること
- 学術研究又は実践活動の成果が埼玉県に貢献していること

受賞の対象となる活動は、次のとおりです。

- 自然科学から人文科学まで森林を含む緑に関する学術研究
- 営利、非営利にかかわらず森林を含む緑に関する実践活動
- 学術研究や実践活動に対する寄付等の支援活動
- その他、緑と共生する社会づくりに貢献したと認められる活動

2 応募方法

個人や団体からの推薦（自薦は不可）により、「推薦書」に必要事項を記入の上、3の「応募先」までメールで送付してください。
「推薦書」の様式は、埼玉県のホームページからダウンロードすることができます。

本多静六賞 募集

検 索



3 応募先

メールアドレス：a4300-13@pref.saitama.lg.jp
埼玉県 農林部 森づくり課 森林活動支援担当 あて

4 応募締切

令和 8 年 **11** 月 **30** 日(月)

5 選考方法

本多静六賞選考委員会の選考を経て、知事が決定します。

6 表 彰

表彰は令和 9 年 5 月に実施する予定です。

受賞者には、**賞状**と**副賞**(賞金、賞状木製レプリカ)を贈呈します。

これまでの受賞者

第1回受賞者

やまなか たかひさ
山中 敬久氏（林業経営者）

第2回受賞者

NPO 法人埼玉森林サポータークラブ（森林ボランティア団体）

第3回受賞者

はら くにひろ
原 邦紘氏（林業経営者）

第4回受賞者

さいとう かおる
斎藤 馨氏（東京大学教授）

第5回受賞者

県立浦和高等学校同窓会（浦高百年の森づくり活動）

第6回受賞者

おお た たけひこ
太田 猛彦氏（東京大学名誉教授）

第7回受賞者

いし い きよのぶ
石井 清允氏（森づくり活動指導者）

第8回受賞者

いわ た ひろし
岩田 洋氏（埼玉森林インストラクター会顧問）

第9回受賞者

お菓子な郷推進協議会（菓子製造業団体）

第10回受賞者

さかもと ぜんべい
坂本 全平氏（林業経営者）

第10回特別受賞者

久喜市立三箇小学校

第11回受賞者

NPO 法人ときがわ山里文化研究所（地域振興団体）

第12回受賞者

そのだ みのる
蘭田 稔氏（秩父神社宮司、京都大学名誉教授）

第13回受賞者

せきぐち さだ お
関口 定男氏（元ときがわ町長、埼玉県中央部森林組合顧問）

第14回受賞者

くりはら けい こ
栗原 慶子氏（東吾野女性林研「ときめ木」会長）

第15回受賞者

なかじま ひろし
中島 宏氏（造園技術者）

第16回受賞者

いぬ い ただし
犬井 正氏（獨協大学名誉教授）

第17回受賞者

い さ ひろし
伊佐 裕氏（伊佐ホームズ(株)、森林パートナーズ(株)）

第18回受賞者

秩父森づくりの会（森林ボランティア団体）

第19回受賞者

みやばやし しげゆき
宮林 茂幸氏（東京農業大学名誉教授）

- 「森林レクリエーション」という新しい概念で都市と山村の上下流交流によって山村地域を活性化し、森林を管理する取組みを提唱し、県内をフィールドに学術研究を行ってきた。提唱した概念は、埼玉県における「企業・団体による森づくり」等の県内各地での県民参加型の森づくりに活かされた。
- 荒川ビジョン推進協議会会長、埼玉県森林審議会会長、第75回全国植樹祭実行委員など多くの委員を歴任したほか、森林づくりに関する各種シンポジウム、フォーラムの座長も務め、多様な側面から埼玉県の森林・林業・水資源保全・地域振興に貢献した。
- 全国各地で森林・林業分野の教育活動、森林ボランティアの育成を行ってきた。

埼玉県出身で日本最初の林学博士



東京帝国大学教授時代（大正10年頃）

本多静六プロフィール

博士は、慶応2年（1866年）に現在の埼玉県久喜市（旧菖蒲町）で生まれました。

9歳の時に父を亡くしたこともあり、苦学をして大学に進学。その後ドイツ留学を経て日本最初の林学博士となりました。

博士は、水道水源林・鉄道防雪林などの創設や、日比谷公園をはじめ全国の多くの公園を設計し、近代日本の発展に大きく貢献しました。

また、「人生即努力、努力即幸福」をモットーとして、85年の生涯を通じ、林学・造園学だけでなく、社会貢献活動など多彩な分野で活躍されました。

本多静六記念館では、本多静六に関する資料を展示しています。

所在地：久喜市菖蒲町新堀38 久喜市菖蒲行政センター5階 TEL: 0480-85-1111

本多静六博士の功績



林学の開拓者

「国土を守り、国の繁栄をもたらすにはまず第一に山林を守らねばならぬ」

東京都水源林、鉄道防雪林の造成など全国各地で森林の造成に活躍しました。



公園の父

日本初の洋式公園である日比谷公園をはじめ、大濠公園（福岡県）、養老公園（岐阜県）、大宮公園（埼玉県）、大沼公園（北海道）など全国で200余りの公園を設計・改良しています。



明治神宮の森

博士が100年先を見据えて計画し作り上げた人工の森として、今なお高い評価を得ています。

社会への御礼奉公

博士は、東京大学を退官後、自身の財産のほとんどを社会に寄付しました。

このうち秩父（旧大滝村）地方に所有していた山林約2,600ヘクタールを奨学金制度を創設するため埼玉県に寄贈しました。

埼玉県では、この山林の収益を基に「本多静六博士育英事業」を行い、昭和29年以来、延べ2,000人を超える学生の修学を支援しています。



お問合せ先

埼玉県 農林部 森づくり課 森林活動支援担当

〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-15-1

TEL:048-830-4310 FAX:048-830-4839

E-mail:a4300-13@pref.saitama.lg.jp



埼玉県マスコット
「コバトン」